

事業番号	11 04 03	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	高速交通網整備推進事業	部局	建設部	課・室	道路建設課
		実施期間	S54 ~	E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	3-9 本州中央部広域交流圏の形成				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 高規格幹線道路の建設により集落が分断され、集落としての機能や生活環境の維持に支障が出ている。										
	【目指す姿】 集落機能の回復や生活環境を改善することにより、活力ある地域社会を創る。										
	【実施内容】 対策事業を担う市町村への支援・協力										
指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]											
No.	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
1	中部縦貫自動車道補助事業箇所数 ()内は累計	0箇所 (0箇所)	1箇所 (1箇所)↗	1箇所 (2箇所)↗	1箇所 (2箇所)	達成		予算額	前年度繰越	5,000	0
2									現計予算	7,000	7,000
3									合計(A)	12,000	7,000
4									うち一般財源	12,000	7,000
								決算額(B)	12,000	7,000	
							職員数(人)	1.06	0.53		
成果指標 設定理由	対策事業を担う市町村への支援・協力により集落機能の回復を図った箇所数。 ※目標値：対象となる集会施設の箇所数(全8箇所)を前年度実績に基づき設定										
達成状況 の分析	令和元年度は、高規格幹線道路建設に伴う影響を受ける松本市において、集落機能の回復や生活環境の改善が図られるとともに、高規格幹線道路建設のための用地交渉において進捗が見られた。										

主な取組	✓ 高規格幹線道路の建設により集落分断に対する支援	
	<ul style="list-style-type: none"> ・集会施設整備事業による地元区への支援（集会施設等の環境改善に対する補助） ・中部縦貫自動車道分（1箇所：松本市） <p>※県内では、中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道が全線供用されているが広域ネットワーク構築に向け、国土交通省により、中部横断自動車道、三遠南信自動車道、中部縦貫自動車道の調査・建設が進められている。現在、用地取得中の中部縦貫自動車道において、沿道地域の生活環境整備を図り、事業を円滑に促進するため、松本市が行う沿道地域の生活環境整備への補助に要する経費に対し補助金を交付している。</p>	

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課 題 等	今後の方向性
	高規格幹線道路事業の進捗状況を勘案しながら、生活環境に支障をきたすことがないように事業を進める必要がある。	中部縦貫自動車道、三遠南信自動車道の事業の進捗に応じ、生活環境の維持等に支障が出ないよう関係機関との調整を密にしながら事業を実施する。

事業番号 11 04 03 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	高速交通網整備推進事業	部局	建設部	課・室	道路建設課
-----	-------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	高速交通網整備推進事業	70,372 千円	7,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	高規格幹線道路対策費	補助金	○中部縦貫自動車道分 集会施設整備事業 1箇所(松本市)